

対策内容

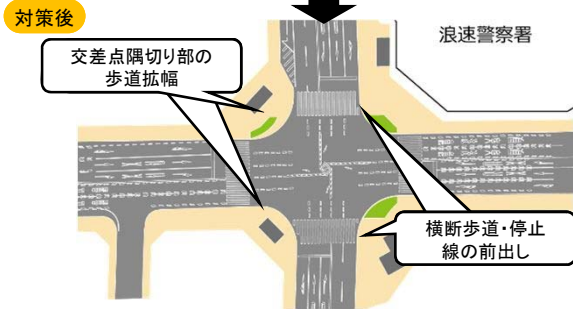
主要施策	事故ゼロプラン
登録名称	国道25号 恵美須交差点
地先住所	大阪市浪速区恵美須東一丁目
対策概成年	令和2年度

- ・ 地下鉄出入口や隅切り部の植栽により交差点内の視認性が悪く、右左折車と横断歩道横断者との接触事故が多発していた。
- ・ 令和2年度に、交差点隅切り部の歩道拡幅、植栽の撤去及び横断歩道・停止線の前出し(交差点のコンパクト化)を実施。

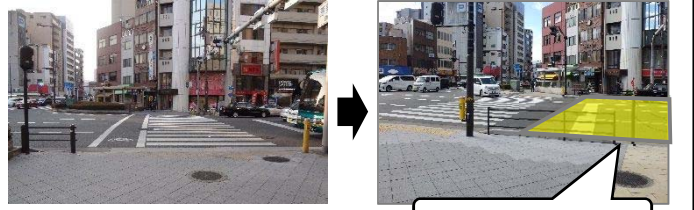
対策前



対策後



横断歩道・停止線の前出し



横断歩道があった箇所

交差点隅切り部の歩道拡幅・植栽の撤去

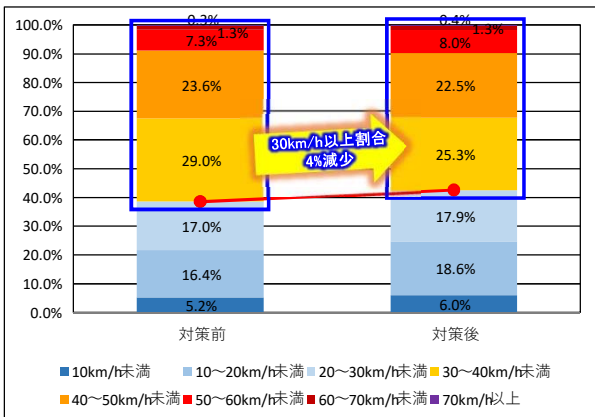


対策効果

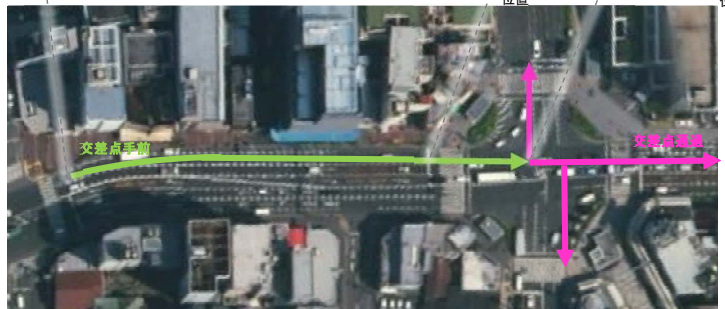
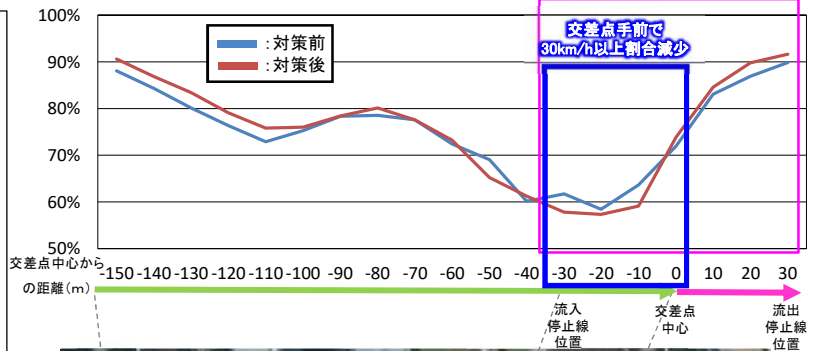
①ETC2.0プローブデータ集計

- ・ ETC2.0プローブデータより、交差点内及び交差点手前で、死亡率が著しく増加する30km/h以上で走行する割合が減少していることが分かった。

■交差点内速度構成比



■30km/h超過率(西側流入部)※全交通を対象



②WEBアンケート調査

- ・ WEBアンケート調査より、全体の7割が対策の効果を実感していることが分かった。
- ・ 右左折時走行速度の低下、交差点の視認性向上、歩道・横断歩道の利便性向上による対策の効果を実感している回答者が多かった。

○全体の結果

	かなり効果があった	やや効果があった	どちらともいえない	あまり効果はない	まったく効果はない
1.自動車が出発点を曲がる際の走行速度が低下したことによる交通安全対策の効果(n=200)	14.0	45.0	36.0	3.5	
2.交差点を曲がる自動車や、歩行者・自転車を確認しやすくなったことによる交通安全対策の効果(n=200)	22.5	41.0	33.5		
3.歩道・横断歩道が使いやすくなったことによる交通安全対策の効果(n=200)	22.0	42.5	31.0	3.5	
4.全体的な交通安全対策の効果(n=200)	22.5	47.5	28.0		

○自動車を利用する回答者の結果

	かなり効果があった	やや効果があった	どちらともいえない	あまり効果はない	まったく効果はない
1.自動車が出発点を曲がる際の走行速度が低下したことによる交通安全対策の効果(n=100)	19.0	53.0	26.0		
2.交差点を曲がる自動車や、歩行者・自転車を確認しやすくなったことによる交通安全対策の効果(n=100)	30.0	44.0	25.0		
3.歩道・横断歩道が使いやすくなったことによる交通安全対策の効果(n=100)	23.0	43.0	31.0	3.0	
4.交差点南西部の車道脇に駐車・停車する車が減ったことによる交通安全対策の効果(n=100)	29.0	37.0	32.0		
5.全体的な交通安全対策の効果(n=100)	29.0	48.0	22.0		

○自転車・徒歩で利用する回答者の結果

	かなり効果があった	やや効果があった	どちらともいえない	あまり効果はない	まったく効果はない
1.自動車が出発点を曲がる際の走行速度が低下したことによる交通安全対策の効果(n=100)	9.0	37.0	46.0	6.0	2.0
2.交差点を曲がる自動車や、歩行者・自転車を確認しやすくなったことによる交通安全対策の効果(n=100)	15.0	38.0	42.0	2.0	3.0
3.歩道・横断歩道が使いやすくなったことによる交通安全対策の効果(n=100)	21.0	42.0	31.0	4.0	2.0
4.全体的な交通安全対策の効果(n=100)	16.0	47.0	34.0	2.0	

※赤枠:「やや効果があった」「効果がなかった」に全体の過半数が回答した項目